

2026 年在ベルゲン弁論大会

サイゼリヤ。大阪王将。ガスト。

皆様、ファミレス、すなわちファミリーレストランご存知でしょうか？

あの安くて、メニューが多いで、ドリンクバーのある飲食店。

その通りです。本日、私は日本のファミリーレストランについてお話ししたいと思います。お待ちしております。

私の名前はトムで高校3年生です。高校2年生の時、10ヶ月間、広島県の福山市に留学をしました。

そして、私の日本生活にとって欠かせない存在が、なんとファミレスでした。

昨日のここのように、今でもよく覚えています。

週に2回ぐらい、ホストファミリーや友達と、時には一人でファミレスに通っていました。

店内を見回すと、そこには色々な形の人たちがいました。

ドリンクバーを囲む高校生。

パソコンを広げて論文を書く大学生。

また、静かに一人で食事を楽しむサラリーマン。

私も、期末試験やテストが近づいた時に、何時間もファミレスで勉強しました。

「ファミリーレストラン」という名前ですが、そこにいる方は家族だけではありません。

学生、会社員、高齢者、そして私のような留学生。

「家族でないとダメです」というわけではありません。誰でもオッケーです。

私はこの様子を見て、日本社会について考えるようになりました。

日本はすごく便利な社会で効率的です。

しかし、時には人と人の距離が遠いと感じることもあります。

そんな中で、ファミレスは誰でも長時間いてもよく、静かに自分の時間を過ごせる

「居場所」だと私はすごく感じました。

でもこのようなファミレス文化はどこから来たのでしょうか？

実は、日本放送協会（NHK）によると、ファミリーレストランはアメリカから来た文化です。

しかし、日本はもちろん日本らしさを出しました。

タブレット注文、ロボット店員、ドリンクバー。

外から来た文化が、日本社会に合わせて、日本らしい形になりました。

ファミレスは安くてクオリティーが高く、色んな人々にアピールできる食べ物を提供しています。

ファミリーレストランは、日本にいた頃、自分にとってすごく特別でした。

次に行く日を、もう楽しみにしています。

サイゼリヤでも、ガストでも、どこでも。

ぜひ、皆様もお越しくださいませ。